



大安寺の住職さんを招いて ウェルケア重信で花まつり

お釈迦様の誕生をお祝いする花まつりが、ウェルケア重信で開催されました。「お釈迦様が誕生したとき、九つの頭を持つ龍が天から降り、甘露の雨を注いだ」という言い伝えに基づき、大安寺の住職、窪田頭脩^{けんしゅう}さんの読経の中、一人ひとりが心を込めてお釈迦様に甘茶をかけました。参加した人は「住職さんのお話も聞けて、とても良い時間でした」と満足そうに話していました。

市内外から出店者が大集合 GW にマルシェ開催

キッチンカーやハンドメイドマルシェが集まるひだまり小町が、市総合公園等で開催されました。青空と新緑に囲まれた絶好のマルシェ日和の中、市内外から出店者が集まり、多くの家族連れが美味しいものを食べたりマルシェで買い物を楽しんだりしていました。また、音楽ライブやよさこいの演舞、空手の演武などの出し物も行われ、イベントは盛り上がりを見せていました。



わっしょい、わっしょい 見奈良の春祭り

見奈良の素鷲^{そが}神社で春祭りが開催されました。毎年5月3日に行われており、この時期に神輿が出る祭りは、市内で類を見ない珍しいものです。子ども相撲や餅まき、獅子舞の演舞などが行われた後、氏子たちが神輿を担いで「わっしょい、わっしょい」と元気な声を響かせながら地域を練り歩き、賑やかな雰囲気に包まれた一日となりました。



▲日本空手道武道塾

▲ウェルケア重信

ユーモア溢れる楽しい作品 2団体が市の魅力発信 CM を制作

日本空手道武道塾とウェルケア重信の2団体が、ふるさとCM大賞えひめ'25の出品作品として、市の魅力を発信するCMを制作しました。作品はテレビで放送されるとともに、YouTubeで見ることができますので、下記二次元コードからご覧ください。

なお、今年度も'26の出品作品を募集します。詳細は広報紙、市HP等でご案内します。



▲視聴はこちら

家族で楽しめるイベント盛りだくさん 春のほっちょ市を開催

ほっちょ市がさくらの湯観光物産センターで開催され、美味しいものやこだわりの商品の販売、ビンゴ大会などが行われました。また、市内出身で現在東京で音楽活動を行っている、観光大使の啓太^{けいた}さんによるミニライブも開催され、全国各地のファンが来場。歌とトークで観客を楽しませました。ほっちょ市は年4回開催しますので、是非家族でお越しください。



綺麗な牡丹と美味しいものに囲まれて 井内のぼたん祭り

ぼたん祭りが、井内のぼたん茶屋^{きみかす}で開催されました。店主の永井公一さんが平成9年から地域の活性化のため開催しており、地元で収穫された餅米を使ったお餅などが販売されました。また、初めてマルシェが開催され、コーヒーやアクセサリーの販売コーナーのほか、マッサージや占いのブースも設けられました。訪れた人は、美しい牡丹を眺めながら井内の温かい雰囲気を堪能していました。





187 件の応募の中から決定！ 新公園の名称は「CRO × SPO 東温」

重信川かわまちづくりによる公園名称募集に伴う感謝状及び記念品贈呈式が開催されました。CRO × SPO 東温（クロスポトウオン）は、市在住の渡部竜哉さん考案の「SAKURA CRO × SPO PARK TOON」を基に愛称を決定。渡部さんは「CRO × SPO は、Cross Sports の略で、人と人、人と地域をスポーツで繋ぐ意味を込めました。スポーツを楽しむ憩いの場になると嬉しいです」と話していました。

未来の農業の担い手を育成 東温担い手農業生産団地が開所

東温担い手農業生産団地が完成し、竣工神事及び開所式が開催されました。同農業生産団地では、野菜や水稻、花木に携わる新規就農者の育成や研修が行われます。式典に参加した研修生の渡部やまとさんは「苺の栽培方法を 2 年間学びます。研修期間は、挑戦し何度も失敗できる期間なので、しっかりと勉強し、農家として自立できるよう頑張ります」と意欲を示していました。



ロケットに自分の夢や未来への希望を乗せて ロケット打ち上げ体験教室

障がいを持つ人と保護者対象の教室（主催：就労継続支援 B 型事業所 GEN 気）が開催されました。参加者は試行錯誤してロケットを組み立て、未来への希望をロケットに描き、川内運動場でロケットを発射。発射ボタンを押すと一瞬で飛び上がる様子に、歓声が上がりました。参加者は「組み立てたロケットが飛ぶと、地上にいる自分も空に行った気分になりました」と目を輝かせていました。



Interview



池田 チフミ さん

Q 日本舞踊の練習はどれくらいしていますか？

A 30 分の練習を 1 日に 2 ～ 3 回しています。また、時々先生のところへ習いに行っています。

Q 健康のために気を付けていることは？

A 食えること、寝ること、お風呂に入ることです。また、毎食後に足踏み 50 回、つま先立ち 10 回、片足立ち 1 分ずつの体幹体操もしています。これをするとならないとは大違いです。



教えて、チフミさん

102 歳の元気の秘訣って？

地域包括支援センターが協働し、住民主体で地域の身近な課題を話し合う協議体「助け合い 支え合い とうおん」の活動に、102 歳ながら日本舞踊を華麗に踊る池田チフミさんをお招きし、元気の秘訣をお伺いしました。参加者は、池田さんの「ひ孫が 15 人います」という言葉に驚きの声を上げ、健康のための習慣を聞くと「私も見習わないといけない」と、大変感心した様子で話していました。



小学生たちの声と笑顔が地域を元気に 東谷小学校のみんなで田植え

東谷小学校の全校児童が田植えを行いました。植え方の説明を聞いた後、水田に入ると水温が低く、思わず「冷たい！」と声を出す子もいました。周囲の上級生や地域の人たちの助言を受け、みんなで泥にまみれながら、1 時間半程で苗を植え終えました。6 年生の白石蓉佳さんは「小学生として田植えをするのは最後になりました。みんなと田植えをすることができて、嬉しかったです」と笑顔を見せました。

